

津山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	化学特論
科目基礎情報					
科目番号	0002		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	情報工学科		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	改訂 化学 (東京書籍, 検定教科書) 必要に応じて資料を配布。				
担当教員	守友 博紀, 下池洋一 (一般), 齊藤奈波 (一般)				
到達目標					
学習目標: 化学I, IIで学習したことを足がかりとしながら, 無機化学および化学工業を広く浅く学習し, 工業と化学のつながりを理解する。					
到達目標 1. 固体の構造, 性質を理解する。 2. 人間生活を支える無機物質, 有機物質の性質を理解する。 3. 化学製品の工業的製法に関して理解する。					
ルーブリック					
	優	良	可	不可	
評価項目1	固体の構造や性質を, 具体的な例を示しながら自分の言葉で説明できる。	固体の構造や性質を自分の言葉で説明できる。	固体の構造や性質を理解している。	固体の構造や性質を理解できていない。	
評価項目2	生活を支える無機化合物や有機化合物の特徴や性質を理解し, 生活との繋がりを自分の言葉で説明できる。	生活を支える無機化合物や有機化合物の特徴や性質と生活との繋がりを理解している。	生活を支える無機化合物や有機化合物の特徴や性質を理解している。	生活を支える無機化合物や有機化合物の特徴や性質を理解できていない。	
評価項目3	化学製品の工業的製法に関して, 実験室的製法とは異なる特徴や工夫点を自分の言葉で説明でき, 実社会における重要性も理解している。	化学製品の工業的製法に関して, 実験室的製法とは異なる特徴や工夫点を自分の言葉で説明できる。	化学製品の工業的製法に関して, 実験室的製法とは異なる特徴や工夫点を理解している。	化学製品の工業的製法に関して, 実験室的製法とは異なる特徴や工夫点を理解できていない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<p>一般・専門の別: 一般 学習の分野: 共通・基礎</p> <p>基礎となる学問分野: 無機化学・有機化学・物理化学</p> <p>学習・教育目標との関連: 本科目は一般科目学習目標「(1)実践的技術と工学の基礎を学び, 深く専門の学芸・技術を身につける。」および「(2)自律の精神を求め, 創造性を身につける。」に相当する科目である。</p> <p>技術者教育プログラムとの関連: 本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(A) 技術に関する基礎知識の深化および情報技術の習得とそれらを活用することができる」である。</p> <p>授業の概要: これまで学んできた基礎事項を足がかりとして, 化学と実生活, 工業との繋がりを解説する。</p>				
授業の進め方・方法	<p>授業方法: 必要に応じて資料を配布しながら進める。</p> <p>成績評価方法: 定期試験の点数 (70%) に, 適宜課すレポート等の点も加味 (30%) して評価する。</p>				
注意点	<p>履修上の注意: 本科目は「授業時間外の学修を必要とする科目」である。当該授業時間と授業時間外の学修を合わせて, 1単位あたり45時間の学修が必要である。授業時間外の学修については, 担当教員の指示に従うこと。</p> <p>履修のアドバイス: これまでの化学の知識を生かしながら, 能動的な態度で授業に参加してほしい。 (事前に行う準備学習) 教科書の該当箇所を読んでおく。</p> <p>基礎科目: 化学I (全学科2年), 化学II (全学科3年)</p> <p>関連科目: 生命科学I (全学科4年)</p> <p>受講上のアドバイス: ※本科目は環境ならびにエネルギー人材育成関連科目である。 ・身の回りにおける化学製品と本講義の関連を常に意識しながら受講するとよい。 ・遅刻の取扱については, 授業開始時に出席を取った段階で不在の場合, その授業を「欠席」したとみなす。社会は時間に厳しい。そのことを知ってほしい。</p>				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
履修選択					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	固体の構造, 性質①	金属結晶, イオン結晶, 分子結晶, 非晶質材料の構造について理解する。	
		2週	固体の構造, 性質②	同上	
		3週	非金属元素の単体と化合物①	代表的な非金属元素の単体および化合物の諸性質, 工業的製法を理解する。	
		4週	非金属元素の単体と化合物②	同上	
		5週	非金属元素の単体と化合物③	同上	
		6週	典型金属元素の単体と化合物①	代表的な典型金属元素の単体および化合物の諸性質, 工業的製法を理解する。	
		7週	典型金属元素の単体と化合物②	同上	
		8週	【中間試験】		

2ndQ	9週	試験返却	
	10週	遷移元素の単体と化合物①	代表的な遷移元素の単体および化合物の諸性質, 工業的製法を理解する。
	11週	遷移元素の単体と化合物②	同上
	12週	遷移元素の単体と化合物③	同上
	13週	金属イオンの分離・確認①	金属イオンの定性分析について理解する。
	14週	金属イオンの分離・確認②	同上
	15週	【期末試験】	
	16週	試験返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	自然科学	化学(一般)	化学(一般)	代表的な金属やプラスチックなど有機材料について、その性質、用途、また、その再利用など生活とのかかわりについて説明できる。	4
				洗剤や食品添加物等の化学物質の有効性、環境へのリスクについて説明できる。	4

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0